

## 令和2年度 愛西市水道事業経営戦略検討委員会会議録（概要）

会 議 名	令和2年度第1回愛西市水道事業経営戦略検討委員会
開 催 日 時	令和2年12月2日（水） 午後2時00分から午後4時10分まで
開 催 場 所	愛西市役所 南館2階 会議室2-5
出 席 者	別紙のとおり
欠 席 者	—
協 議 事 項 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●協議事項</li> <li>（1）愛西市水道事業経営戦略策定について</li> <li>（2）その他</li> </ul>
公開/非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍 聴 人 の 数	0人
会 議 資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次 第</li> <li>・資料番号1 愛西市水道事業経営戦略検討委員会設置要綱</li> <li>・資料番号2 令和2年度愛西市水道事業経営戦略検討委員会委員名簿</li> <li>・愛西市水道事業経営戦略（案）</li> </ul>
審 議 経 過	別紙のとおり

愛西市水道事業経営戦略検討委員会委員

役 職	氏 名	要綱号番号(選出区分)・備考
委員長	原田 宏	第1号
委 員	阿部 秀夫	第1号
委 員	松永 恵美子	第2号・委員長職務代理者
委 員	鷺野 則美	第2号
委 員	西場 靖高	第1号
委 員	三島 哲也	第1号
委 員	渡邊 典夫	第3号
委員会設置要綱 第4条 第1号 水道事業に識見を有する者 第2号 需要家 第3号 要綱第7条第3項に規定する作業部会の部会長 第4号 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める者		

意見参考人

氏 名	所属等	備 考
安福 千尋	新日本設計株式会社	
古田 治	新日本設計株式会社	

事務局（愛西市役所 上下水道部上水道課）

氏 名	氏 名	氏 名
上下水道部長 三輪 進一郎	上水道課長 佐藤 博之	上水道課長補佐 平野 宗克
上水道課主査 小澤 吉史		

## 審 議 経 過

発言者	内容（概要）
事務局	<p><b>1. あいさつ（上下水道部長）</b></p> <p>本日は、ご多用のところ、ご出席いただき誠にありがとうございます。</p> <p>愛西市水道事業経営戦略（以下、協議事項名、資料名等を除き「経営戦略」という。）の策定につきましては、平成26年に総務省自治財政局から通知があり、将来に渡って安定的に水道事業を継続していくための中長期的な基本計画である経営戦略の策定が要請され、更に平成28年には同省同局より令和2年度までに策定するよう求められています。</p> <p>本年度中に経営戦略を策定するということで、庁内作業部会においても協議を重ねていますが、委員の皆様におかれましては、忌憚の無いご意見をいただきますよう、よろしくお願いいたします。</p>
事務局 委員	<p><b>2. 委員長の選出（上下水道部長にて進行）</b></p> <p>委員互選により、原田委員が委員長に推薦され、全委員が賛同し、委員長が選出される。</p>
委員長	<p><b>3. 委員長あいさつ</b></p> <p>委員会設置要綱によりますと、経営戦略を策定するにあたり、幅広く意見を求めるということでございます。</p> <p>私も、一つでも意見が提案できればと考えていますし、委員の皆様におきましても、様々な立場から忌憚の無いご意見・提案を頂戴いたしまして、実りのある委員会、経営戦略にしていきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>なお、今後のスケジュールについてはこれから説明がありますが、この委員会といたしまして、最終的に文書による答申、了解事項等はないということですのでお伝えしておきます。</p>
事務局	<p>それでは、委員会設置要綱第5条第3項に基づきまして、委員長より職務代理者の指名をお願いします。</p>
委員長	<p>需要家の立場から様々なご意見をいただきたいと思いますし、松永委員を指名いたしますので、よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>松永委員は、委員長職務代理者ということでよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、これ以降の会議進行につきましては、委員会設置要綱によりまして議長は委員長にお願いしたいと思います。</p>
委員長	<p>それでは、協議事項1番愛西市水道事業経営戦略策定について、事務局より説明をお願いします。</p>

事務局	<p>内容も多く、委員の皆様には事前に資料を送付させていただきました。</p> <p>よって、特に皆様にご意見・ご協議をいただく必要がある部分について、説明をさせていただきます。</p> <p>本文説明に入る前に、経営戦略は総務省より公営企業に対して示された経営戦略策定ガイドラインに則り、同じく示された策定の手引書であるマニュアルを参照し作成しています。</p> <p>具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画期間は10年以上の合理的な期間を基本として設定する。</li> <li>・ 企業経営について現状分析をしっかりと行う。</li> <li>・ 将来の事業環境を把握する。</li> <li>・ 経営の基本方針を検討する。</li> <li>・ 投資財政計画を策定する。</li> <li>・ 独立採算制の基本原則から投資試算及び財源試算の将来予測を立て、収支ギャップが生じる場合においては、その解消に向けた取り組みの方向性等を盛り込む。</li> <li>・ 広域化や民間活用等を含めた内容を盛り込む。</li> </ul> <p>などがあることを踏まえて、愛西市水道事業経営戦略（案）を説明します。</p> <p><b>【事務局より、愛西市水道事業経営戦略（案）に基づき、1～19ページまで説明。】</b></p> <p>○説明の要点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経営戦略案の構成。</li> <li>・ 愛西市水道事業の沿革。</li> <li>・ 管路施設の老朽化率、耐震化率の現状。</li> <li>・ 浄水場施設の現状と今後の自己水源の在り方及び施設更新計画。</li> </ul> <p>委員長、一括して説明するつもりでしたが、ここまでに委員の皆様からご意見をいただいた方が良く判断しますので、よろしくをお願いします。</p>
委員長	<p>ここまでの説明の中で、ご意見等ございましたらお願いします。</p> <p>冒頭で総務省のことについて説明がありましたが、水道事業に携わっていない方は、非常に難しい内容です。</p> <p>既に愛西市では水道事業基本計画（以下、「基本計画」という。）と水道ビジョンを策定しています。</p> <p>総務省のマニュアルを見ますと、水道ビジョンがある場合において、総務省が求める内容を満たすものであれば、これを経営戦略に換えても良いとあります。</p> <p>既存計画である、基本計画と水道ビジョンが細かく作り込まれており、これに比べ経営戦略は、これらの抜粋みたいな形になっていますが、既存計画との関係性を触れておく必要があるかと思うのですが。</p>

事務局	<p>総務省に関して説明しましたのは、経営戦略を策定する本意として、総務省から本年度末までに各水道事業において経営戦略を策定するという要請があり、かつ報告の必要があるということと、この後で説明しますが愛西市水道事業（以下、協議事項名、資料名等を除き「愛西市水道」という。）は、地域で水道料金が違うという現状があります。</p> <p>この現状を踏まえ、来年度以降、料金改定の検討を行う考えがある、という前提で経営戦略を作成しています。</p> <p>基本計画と水道ビジョンについては策定していますが、策定を終えてから5年程経過したところです。</p> <p>その後の5年間に、各市町村において「まち・ひと・しごと創生総合戦略」という地方創生に関する、人口ビジョンの中において、愛西市においても国・県同様、かなり人口減少が激しい現状があります。</p> <p>私共としては、5年前に水道ビジョンを作成してから、愛西市水道を取り巻く環境が変化していることを踏まえ、この経営戦略を作成しています。</p> <p>先ほど言われたとおり、水道事業はかなり専門性が高く、愛西市水道の経営戦略を策定する上において、外部委員会をもって議論をいただく、という水道事業者は、近隣ではかなり少ない現状がありますが、私共としては、あくまでも経営戦略は今後の財政収支計画を主とした策定を目的としたときに、料金改定につながる計画であるということから、幅広くご意見をいただき経営戦略を策定したい、という本意からこの委員会を設けています。</p>
委員長	<p>今、言われたようなことを分かりやすく、どうしてこの経営戦略を策定するのか、ということに記載した方がよろしいと思います。</p> <p>なお、水道ビジョンあるいは基本計画をローリングするということも書いてあるはずですので、その辺りも経営戦略とからめて、例えばこういう事は、この計画ですとか、そういう説明をした方が良いと思いました。</p>
事務局	<p>そのとおりと考えるので、経営戦略の冒頭に、委員長が言われた内容を盛り込みたいと思います。</p>
委員長	<p>八開地区と佐織地区の料金が違うという話がありましたが、本来一つの地方公共団体では、そこにいる住民は同じサービスに対して同じ対価があるということであり、海部南部水道企業団（以下、資料中の表現等を除き、「海部南部水道」という。）との関わりや経緯を記載し、八開地区と佐織地区についての説明を記載した方が良いと思いますし、これが、後の広域化というところにもつながっていくと思うのですが。</p>
事務局	<p>経営戦略中、水道事業の沿革の中で、「本市には、佐屋地区と立田地区を給水区域に含む海部南部水道企業団」という表現だけに止まっているところがありますので、市民の方にも理解しやすい内容に変更したいと思います。</p>

委員	<p>第1章の前に、「はじめに」みたいな形ででもいいですから、ぜひ掲載していただきたいと思います。</p> <p>全体を通して、国へ提出する資料を作るのが目的です、という前提はあるかもしれませんが、その前に市民の方にこれを見ていただき、愛西市水道の現状を知っていただきたいというのが、事務局の想いだと考えます。</p> <p>ですが、全体的に非常に分かりにくく、委員長が言われたように、市民の方が見られて、例えば、耐震化の現状のところでは基幹管路だとか非基幹管路とか書かれていても、何を以て基幹管路なのかということが、多分、市民の方は分からないと思います。</p> <p>基幹管路は例えば、病院、学校等の重要な施設へ送水する管路のことを基幹管路と言いますよとか、全ての事柄について、もっと砕いた言い方をどこかに記載し、市民の方が分かるようなものをぜひ作っていただきたいと思います。</p> <p>国に提出するだけであるならば、決してこの委員会は必要でないとは思いますが、意見をオープンにし、情報開示の一つの資料として、皆様に今の愛西市水道の現状をみていただきたいと思います。</p> <p>確かに愛西市水道の現状は悪く、例えば耐震化率において基幹管路は26.5%という説明がありましたけど、これは日本の平均が恐らく40%を超えている中でもかなり低く、愛知県自体も耐震化が進んでおり、県下の平均でいくと更に低いです。</p> <p>この状況を変えるためには、管路を耐震化しなくてはいけないとか、本当に地震が起きたとき、愛西市は南海トラフ巨大地震あるいは東海地震の両地震にからむような地域ですので、だから愛知県は耐震化率が非常に高いわけであり、そういった部分を市民の方に分かっていただき、本当に次世代の人達に、今の愛西市の水道はこのままでいいのですか、と訴えたいのであれば、訴える内容を分かるようにしなければならぬのでないか、と思います。</p>
事務局	<p>全体的な表現であるとか、かなり専門性が高いという、ご指摘がございましたので検討します。</p> <p>先ほど、説明を一端区切りしたのは、特に自己水源である井戸を今後どのようにしていくのかということが、今後の更新計画にかなり影響し、それが損益に直結するという考えから説明を区切らせていただいたということでご理解下さい。</p>
委員長	<p>私からも説明させていただきますと、皆様のご家庭で蛇口をひねると当たり前のように水が出てきて、それに対しお金を払っている訳ですが、水道を井戸から汲み上げてご家庭まで届ける施設があるのですが、実はそれは古くて、変えなくてはならない状態になっています。</p> <p>そういう問題が起こるといことと、この辺りは南海トラフの地震で、大きな被害を受けるという想定がされています。</p> <p>水道管とか施設についても耐震化しなくてはいいませんが、その耐震化も</p>

	<p>なされていないですよ、だから、これからそれをやっつけていこうとするとかなりお金がかかります。</p> <p>ところが一方で、今、飲んでいる水もどうにか水質基準をクリアするのですが、本来であれば、水質基準に抵触するものについては、自ら浄水処理をするということをすればいいのですが、それにもお金がかかると、そういう中で、優先順位を付けて、どうやってお金を支出していこうか、そして、それに対して、料金が見合うかどうか、ということはこの委員会で検討したいというのが本音だと思っています。</p> <p>そして、その結果として、全てのことをやらなくてはいけない、でも、どうしてもお金が足りないという、料金を値上げするしかないですが、それでもいいかどうか、というご意見を事務局は何いたいのかなと思います。</p> <p>本来、事務局が説明しなければならないところ、ありがとうございます。</p> <p>昨年度、愛西市水道は1千2百万円程の黒字でしたが、現状は耐震化率が低いとか老朽化率が高いという現状をもって、1千2百万円程の黒字でした。</p> <p>今後それを委員が言われたとおり、全国的に見ても、愛知県下においても耐震化率の数字が悪い、老朽化率の数字が悪いということを改善していくためには、水を各ご家庭に送るための水道管を古いものから新しいものへ変えていくための管路更新にどうしても経費がかかります。</p> <p>それで、水道管を年間何メートル変えるところをどれくらい増やすのかとか、それにより耐震化率や老朽化率の数字がどれくらい良くなっていくのかというところなどをこれからご議論いただきたいと思っていますところでは。</p> <p>説明を続けます。</p> <p><b>【事務局より、愛西市水道事業経営戦略（案）に基づき、20～41ページまで説明。】</b></p> <p>○説明の要点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同一市内に二つの水道事業所があり、料金体系が異なる現状及び愛西市水道の区域内においても、地区により料金体系が異なる現状。</li> <li>・ 愛西市水道の組織、構成及び職員に係る経費計上方法の現状。</li> <li>・ これまでの経営健全化に対する取り組み上状況。</li> <li>・ 経営分析表による現状分析と評価。</li> <li>・ 将来の給水人口の予測。</li> <li>・ 給水人口予測に基づく料金収入の見通し。</li> <li>・ 施設の見通し。（管路更新及び浄水場施設における自己水源から、全量県水受水へ切り替えた場合。）</li> <li>・ 組織の見通し。（今後の更新計画を踏まえ、資本勘定職員の配置。）</li> </ul>
事務局	
委員長	<p>ここまでのところで思いましたが、総務省のマニュアルとか手引きを見ると、必ずしも法定耐用年数の経過を当てはめるのではなく、実際の耐用年数の現状を把握するのが望ましいと書いてあり、水道技術センターの方からも</p>

	<p>概ね何年ぐらいという年数が出ている訳ですが、そういうものは使用されないのですか。</p>
事務局	<p>例えば塩化ビニル管ですと実質の耐用年数が大体60年だといわれていますので、法定耐用年数である40年経ったから必ずしも水道管を入れ替える必要があるものではない、ということは認識しております。</p> <p>その辺りも考えさせていただきながらですが、約220キロメートルという、かなり長い延長の管路更新事業を、この少ない職員の中で行っていくことを考えたとき、管路の更新率が今まで、5年間平均で概ね1.1%以下くらいのペースで行っていたのを1.3%くらいまで上げて、老朽管率をなだらかに減らしていく形でということを考えています。</p>
委員長	<p>では、計画自体は法定耐用年数でなくて。</p>
事務局	<p>実質、大体年間2,000m弱のペースで更新していたのを、プラス1,000mくらいで進めていかないと、老朽化率も下がっていかないものと判断しています。</p>
委員長	<p>それは逆に言うと、法定耐用年数どころか実情をもったペースでやっても実のところ間に合わないと考えますが、計画として何を使うかというところだけ押さえておく必要があると思います。</p>
委員	<p>実際のアセットマネジメントは行っているのですか。</p>
事務局	<p>簡易型で行っています。</p>
委員長	<p>水道ビジョンを策定されたときは、それでやっていると書いてあった気がするのですが。</p>
委員	<p>いずれにしても、更新率があまりに低いので、どんなアセットマネジメントをあてはめても実質的な部分をいうと、どこまでそれをあてはめるのか、ということだと思いますが、とてもではないですが、追いつかないだろうというところで、結果は一緒になるのかなと考えます。</p>
事務局	<p>言われるとおりのことその他、先ほど説明したとおり、資本勘定とか、本来は用語説明すべきところですが、資本勘定に職員を配置するという考え方を導入することをもって、職員の定員を増やすなどして、管路更新、施設更新を進めていく必要があるという思いも持っています。</p>
委員	<p>住民の疑問としては、道路側溝とかの整備は目に見えるため、順番にやられていることが分かりますが、水道管は地中にあり、優先順位をどのように付</p>



事務局	<p>けているのかが分からないところがあります。</p> <p>どこかで水道管の破損があって、その周辺から更新しているのか、あるいは、台帳に載っていて、古いところから順番にやっているのかが分からないですね。</p> <p>現状として、老朽化が進んでいる水道管というのは、その地域において概ね、同じ時期に水道管が布設されていますから、漏水事故が多い地域というのが顕著に表れます。</p> <p>先ほど、基本的に下水道整備に合わせた管路更新を重点としているという説明しましたが、現在、下水道整備を進めている中において、下水道管を入れるにあたり地中を掘るものですから、それに合わせて、管路更新を行っているというのが重点という形で、一方、それ以外の優先順位については、水道管が古く、漏水件数が多発する地域を優先して管路更新を行っています。</p> <p>この経営戦略に関し、総務省に出すためのものを前提とするのか、あくまでも地域の方にお知らせするためのものなのかというところに関して、やはり、上水道の在り方について、基本料金が今ですと海部南部水道と比較しても愛西市水道の方が低い状態で、愛西市水道はその中でも佐織地区は低く、八開地区は高いです。</p> <p>地域で三つの水道料金があるというところがあり、今の愛西市水道の料金を維持していく、要するに耐震化率が低くても老朽化が進んでも、これまでどおりの進め方で今の料金体系を維持していくのか、それとも耐震管、老朽管をきちんと更新する場合に、費用がかかって人口が減っていくという中において料金を上げるのか、という考え方が生まれてくるものですから、その辺りを皆様に考えていただくという意味合いでの計画という位置付けも事務局としては持っている現状がございます。</p>
委員長	<p>今の説明ですが、乱暴な言い方をしますと放っておけば料金は安い、ということであり、海部南部水道の方が料金は高いというお話もありましたが、立派な配水池に作り替えるとか、そういう事業を進めていけば、当然料金に跳ね返ってきますが、その代り老朽管も少ない、耐震性もあるかもしれないということですね。</p> <p>愛西市水道の場合は、確かに料金は安いですけど、老朽管もあるし、耐震化もされていないので、いつ水が止まるかもしれない、という状況をあまり強くも言いたくないですね。</p>
事務局	<p>愛西市水道として考える時期に来ているのかなと考えます。</p> <p>料金体系が違うという現状も、本当にこれでいいのかという、ご意見は市民の皆様からも議会の方からもご指摘いただいているところですので、その点を是正することも踏まえて、やはりこの経営戦略で将来的な見通しについては、職員だけで作るのではなくて、色々な方からご意見を伺って作り上げていきたいという想いです。</p>

委員	<p>前回の料金改定（平成28年4月）があって、佐織地区が八開地区とバランスをとって少し値上がりしましたね。</p> <p>そのときに、佐織地区に関しては、料金が上がったということを皆様がいうのですが、町村合併する前から水道料金について、海部南部水道は高く、八開地区は過去に日本一高いというのがある一方で、佐織地区は低いなど喜んでいたのですが、それは今後、問題になるのであろうという予感があり、今回、このことを聞き、きちんとしなければいけない時期に来たのだなと思いました。</p>
事務局	<p>そういうことで、今回の経営戦略が市民の皆様にご覧いただくための判断資料の一つであることを目指したいとは思っています。</p>
委員	<p>水道料金の問題は、市町村合併を推進するときにおいて一番、課題・障害になったのか、料金が同じ市内で異なるという自治体が一杯ありました。</p> <p>国も、しばらくの間は別々の料金でもいいから先に市町村合併してね、ということで現在に至っていますが、料金統一も含め、料金を上げてでも、次世代にしっかりした水道を残していくべきであろうと思います。</p> <p>これから人口が減少していくともっと厳しい時代が来ますが、そのときに水道を改めて作り直そうとすると、今よりも苦しい状態になるだろうと。</p> <p>この状況の中で、経営戦略を見させていただくと、重要な自己水源はヒ素という問題もあるし、それを老朽化してきたから作り変えなくてはならないとなると、ものすごいお金がかかる、であれば、愛知県から水を買った方が安上がりではないか、というような結論にこの経営戦略は成り立っています。</p> <p>この委員会の中で水道料金の改定を決定しようという委員会ではないと思いますので、自己水源を無くすことによってどのような影響があるのか、水質面、県水に変えることによる経費面のことや防災的なこととか総合的にお考えいただいて、そういうことを検討していった方がいいかな、あるいは、いいですね、というようなことを細部にわたって検討していきましょうね、というようなことを決定するようぐらいまでの提言ができればいいのではないかなと思います。</p>
事務局	<p>自己水源、要するに井戸に関する施設が現状使えているということの方が、やはり県水を買うよりは、安価である状態ではあります。</p> <p>ただ、施設の耐用年数やヒ素を除去するという装置を新たに施設更新に盛り込んだ場合には、県から水を買うよりもかなり高額になってしまうところ、やはり考えなければいけません。</p> <p>県から水を買うよりは、自己水源があるならば、きちんと活用していけば、料金にかかる経費は安くなりますよね、というお考えの市民の方、また、議会の中でもそのような意見の方がおみえになる、という実情があります。</p> <p>今後の管路の更新や施設の更新は向こう10年間を考えたときかなり経</p>

委員長	<p>費が変わってきますので、自己水源の取扱いについては事細かく書きましたが、より市民の方に分かりやすい形に変えていきたいと思ひます。</p> <p>経営戦略の構成からみると、最初にヒ素の浄水処理の話が先に出てきましたが、これはこれで残しておき、後の収支費用の算出のところを出した方が、良いかと思ひます。</p>
事務局	<p>昨年度、経営戦略に取り組むために先ほどの施設の更新のことを検討していますが、その結果をこれまで公表をしていないので、昨年度についてはこういう内容について議論しましたという意味合いもあります。</p>
委員	<p>愛知県企業庁の尾張西部浄水場を見学に行った際に、県水のお話も聞いたことがあります、かなり広域に配水されていますよね。</p> <p>そこで水害とか地震とかあったときに、全部県水に頼って大丈夫なのかなと危惧します。</p>
事務局	<p>県水に関していうと、管路の耐震化率はかなり高いです。</p> <p>愛西市水道の2倍程度以上で、愛西市水道の浄水場へ県から送られてくるための水道管については、まさに耐震化が進んでいる管路になっています。</p> <p>本当に大規模な災害等の場合は別にして、その場合はあくまでも誰もが想定できないのですが、基本的に耐震化率を見た場合においては、県水は問題ないという認識は持っています。</p>
委員長	<p>県水の場合、災害というものの考え方が管路を改修するだけでなく、浄水場であるとか、川に流れている水質であるとか多岐にわたります。</p> <p>尾張地域だけでいうと、尾張西部浄水場があり、その上流に犬山浄水場があります。</p> <p>例えば、尾張西部浄水場で何かあったときに、犬山浄水場から水を持ってくるということもできますが、そういうときは、皆様が通常100%使っている水は、100%使うのではなく、30%ですとか20%とかぎりぎりです。節水し使うようなことも想定されます。</p> <p>確かに県の施設も災害時において使用できない場合もあるのですが、そういうときには、もしかすると、海部南部水道から応援してもらおうとか、そういう考えというのもありますね。</p>
事務局	<p>昨年度に自己水源から県水に移行するという事について、どちらにも報告をしていないし、ご了解、ご審議をいただいていない、という想いから前の方に記載したところではありますが、後ろの方の施設の見通しのところに移して、施設の現状においてこういう問題が起こり得るからということで、変更をすることについて考えさせていただきたいと思ひます。</p>

委員	<p>個人的な話ですが、農業用の井戸を所有しており、25年前にそれほど深くは無いですが50m掘った井戸が、ここ5年くらい水質がすごく悪くなっています。</p> <p>灌水をするための井戸で、どうしてこんなことになったのか色々調べましたがよく分かりません。</p> <p>愛西市水道の井戸は、もっと深いですよ。</p>
事務局	<p>深いです。200mぐらいあります。</p>
委員	<p>今はそのようなことは無いのですが、旧八開村のときは県水と井戸水も混ぜていたそうですが、実際、旧八開村のときに、ここは水道管が末端だからといって、蛇口を朝ひねると汚い水が出てきたことがあります。</p> <p>当時の水道課職員に来てもらい、30分ぐらい流すときれいにはなりますが、とても汚かったことを覚えています。</p> <p>しかし、生活していく上で、洗う物はいいのですが、飲むのにはためらいまして、当時水を買っていたことがあります。</p> <p>自家の井戸の水質が現在悪くなっていることをみて、雨水が順に下に降りて水源ができると考えると、深さ200mまではまだ先かなとも思いますが心配です。</p> <p>今の方々は毎日、水を買うというイメージがありますが、口にすることは多少なりともありますので、水質のことも大切ですし、確かに災害のときにはどうしても水は必要ですし、かかるお金のことも必要ですので、何もかも兼ね合いで難しいですね。</p> <p>答えは中々出ないのですが、実際に農家で上水を使っている人もいますので、将来的に水を買って栽培しなくてはいけなかな、などと考えると値段が上がると大変だなと思います。</p>
事務局	<p>末端について、水が滞留することもあるようで、時折、水質のことについてお電話をいただきます。</p> <p>そうした場合には、即座に職員が出向いて調査し、市民の方のご意見も踏まえて、水道管にある水を一端外に出すということもあります。</p> <p>毎日、水質検査もしておりますが、どうしても水が滞留し、そうした場合には、ご連絡いただければと思います。</p> <p>現在、井戸については、この地域において新たに井戸を掘れないということもあり、今の井戸を活用し続けるか、もしくは、県水へ移行するのかなというところなので、基本的には令和8年からの更新にはなっていますが、井戸について水質が安定している場合は、自己水源を活用し続けたいという意向は持っています。</p>
委員	<p>八開地区でも何年かに一回、浄水場が壊れるとか、どこかで管が破損して水が溢れているとか聞きますので、施設も古くなってきていると思います。</p>

委員	<p>その他、個人的には職員が少ない中、いつもよくやってみえるなど思っています。</p>
事務局	<p>職員がやるのか、委託化を進めるのかというところもありますが、資本勘定の場合だと、その年の職員の給料はその年の赤字・黒字の経費に直接的には反映しない、一方、業務を委託化した場合はそのまま委託料という形で赤字・黒字にすぐ反映してしまいます。</p> <p>そういうところもあり、この業務を行うに職員が大変であるというのなら、委託化して職員の負担を減らせばよいという考えを即座に取り入れるのが難しいところがあります。</p>
委員長	<p>更新事業は損益勘定で計上している、ということですか。</p>
事務局	<p>更新事業は資本勘定です。</p>
委員長	<p>ですが、それは損益勘定で計上している、ということですよ。</p>
事務局	<p>これまで、更新事業に携わる職員の人件費について、資本勘定による計上をしてこなかった、という意味です。</p>
委員長	<p>そうすると、減価償却は積み上がらないということですね。 だから、当然お金は無いということで、おかしいですよ。</p>
事務局	<p>よって、資本勘定で職員を配置するという考え方を盛り込みました。</p>
委員	<p>管路更新にかかる人件費は、損益勘定で計上されていたということですね。</p>
委員長	<p>では、次へお願いします。</p>
事務局	<p><b>【事務局より、愛西市水道事業経営戦略（案）に基づき、水道事業の現況である、42～最終ページまで説明。】</b></p> <p>○説明の要点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経営の基本方針。（水道ビジョンの基本理念から、持続性のある水道を目指す。）</li> <li>・ 投資、財政計画。（今後の施設整備費、投資以外の経費についての予測。）</li> <li>・ 事後検証。（今後、組織内部にて毎年度実施予定。）</li> </ul> <p>投資・財政計画、収支計画は、その年の社会的状況にかなり反映されます。 本年度の新型コロナウイルス感染症の影響などが、今回顕著なのですが、そのことも踏まえて、現状がこういうことであるということを広くお示しさせていただき、それに伴って、私共はどの様に考えるのか、というところを</p>

	<p>主題として考えています。</p>
委員長	<p>マニュアルとか手引きではもっと、更新費用等の算出については細かく検討するように書いてあった気がしたのですが。</p>
事務局	<p>今回、先ほどの浄水場及び管路の更新とかその他工事とか、金額だけしか記載していませんので、先ほど説明した内容を盛り込むということと、施設更新については、別で皆様方にお渡しさせていただきました、一覧表が該当します。</p>
委員長	<p>この一覧表は、今回の経営戦略では使わないということですか。</p>
事務局	<p>いえ、今回は本文中に入っていませんが、最終的には入れる予定で、施設更新についてはこれをもって、進めさせていただくということと、管路更新については、先ほど説明させていただいた、年間、約3,000m、1億6千6百万円程度の費用をかけていくという内容を盛り込みたいと思っております。</p>
委員長	<p>自己水源について、休止という言い方をされていたと思いますが、休止にしておく理由はあるのですか。</p>
事務局	<p>事務局として自己水源は、財産であるという想いがあり、万一災害等で、本当に県水から水をいただくことができなくなった場合には、直ちに自己水源を復活させる必要があるという考えから、休止という表現にさせていただいたところです。</p>
委員長	<p>その場合において、全量県水へ移行し浄水方法を改築しないということは、水質基準にヒ素項目が抵触することになるかもしれないのですが、自己水源を持っていても水としては確かにありますが、飲めないですよ。</p>
事務局	<p>昨年度の内部検討においてもその意見は出まして、例えば飲めないまでも、生活用水としては使えるのではないかというご意見もありました。</p> <p>その他にも、ヒ素除去対応の可搬式浄化装置なども近年出ているそうなので、そういったものを併せて何か考えていければ、という想いもございます。</p>
委員長	<p>水道事業会計ではなくて、一般会計の防災の方で持ってもらおうとか。</p>
事務局	<p>そういう形もございますし、値段次第で自前で持っていられるのなら、持つという考え方も当然あります。</p>
委員長	<p>自前でそのような装置を持つと、その分だけ料金に跳ね返るということも</p>

	<p>考えなければいけません。</p>
委員	<p>井戸というのは、放っておくと使えなくなってしまうので、メンテナンスはある程度しておかなくてははいけませんね。</p> <p>防災で持つのでしたら、いいですよ。</p>
事務局	<p>その点につきましては、来年度以降の検証において考えたいと思います。</p> <p>今回、台帳整備という内容も盛り込みましたのは、まさに災害時対応の部分で、厚労省の方からも令和4年9月までに台帳整備が求められているところであり、このことについても、次年度以降の検証において危機管理課職員を交え考えていきたいと思っています。</p>
委員長	<p>収支計画について、表中においてマイナスの状況のままですが、マニュアルを見るといろいろなパターンを試算し最終的には、収支ギャップをいかに解消するか、というところまでもっていくものではないのでしょうか。</p> <p>そうすると結果として料金が、いくら上がるということなどが出てきます。</p> <p>マニュアルなどを参考に作られたと聞きましたが、マニュアルに雛形があり、その雛形に最初は合っている、段々とかけ離れている気がします。</p> <p>全体として雛形どおりでなくてもいいと思いますが、マニュアル内容に加えることはよくても、減っているような形かと思っています。</p>
事務局	<p>収支ギャップに関する取り組みに関しては、適正な料金改定を行う形をまずは考えているところです。</p> <p>料金改定の内容については、来年度において料金改定の検討委員会の開催を考えています。</p> <p>先ほど申し上げたとおり、愛西市水道が成り立ってから、平成28年4月に料金改定を一回行っているのですが、来年度において、この経営戦略をもって市民の方や議会の皆様には、今後の財政収支見通しを立てて、それを基に来年度料金改定についても検討していくという、お答えをさせていただいている現状があります。</p> <p>よって、料金改定を何%に引き上げる必要があるとか、どうすべきであるか、というところまでは盛り込んでいません。</p> <p>現在、新型コロナウイルス感染症拡大により、基本料金の減免をさせていただいている中、そして同感染症の影響がある中において、ある市が水道料金を引き上げることの妥当性について報道等で取り上げられことがあったかと思いますが、そういう現状もあり、収支ギャップを無くすための具体的なパーセンテージの引上げ等までは、いまのところ私共は盛り込むことができないと考えますが、総務省の雛形とかけ離れた部分については改めたいと思います。</p>
委員長	<p>適正な料金という言い方と、格差の是正とは別だと思いますが、そこは二</p>

事務局	<p>つに分けて考えた方がいいのではないですか。</p> <p>料金に関し、海部南部水道エリアとどうしていくかということと、愛西市水道として八開地区、佐織地区をどうしていくかについて。</p> <p>愛西市水道において、地域の中で格差があることについては言われるとおりで、是正する必要があるという認識があります。</p> <p>しかし、愛西市の場合は海部南部水道と愛西市水道という、ある意味別の水道事業者であることを考えると、同じ「愛西市民」だから料金は同じであるべきだ、というところは難しいですね。</p>
委員	<p>水道事業者が違うため水道料金も違うということでありますので、海部南部水道と違うのは仕方がないことであり、問題無いものと思います。</p>
事務局	<p>格差の是正について、認識不足ということもあり、前回の料金改定においては、統一されていない状況で進んでいるというのがあります。</p> <p>前回の料金改定は、あまりにも八開地区と佐織地区の料金が違っており、その辺りを縮める形にはなりましたが、更にそれを一度に格差の是正ができるかどうか。</p>
委員長	<p>「段階的」ということで盛り込めるかどうか、あるいは、それを検討するというだけでもいいですね。</p>
事務局	<p>格差の是正について一度にできるかどうか、というところも今の時点で事務局としては判断できませんので、格差是正に関し、段階的にという表現については、考えさせていただきたいと思います。</p>
委員	<p>愛知県の広域化プランのことが書かれていますが、県内で各水道事業者が小さいまま、一つのままで事業運営していくと、今後、事業継続が難しくなっていくから規模を大きくしていきましょう、という動きの中で、研究会を設けられています。</p> <p>愛知県が来年度までに何らかの報告書を作られると思いますが、研究会の中で、愛西市は今どういう立ち位置であって、例えばそれが、50年後なのか20年後なのかわかりませんが、今回の10年計画の中に話を載せられるようなものは無いのでしょうか。</p> <p>例えば、海部南部水道との合併にしても、地域的に全くないわけではないのかなと個人的には思いますが、「研究会に参加しています」と掲載されているだけで終わっており、何か具体的なお話しがあれば教えて下さい。</p>
事務局	<p>現状に関していいますと、海部南部水道は口径別の料金体系で、使用量水器の口径ごとに基本料金が決まり、1立方メートル当たり使うといくらですという考え方なのですが、一方、愛西市水道の場合は用途別で、口径に関係</p>



	<p>なく10立方メートルまでは基本料金が決まっているという、料金体系が異なっている前提もあり、10年の中で方向性を見出すのは難しい状況かと考えます。</p>
委員	<p>今のところ愛西市水道は、単独で事業運営していくということですか。</p>
事務局	<p>広域化は相手があることですので。</p>
委員	<p>では、愛西市水道がどうこうではなくて、県全体として愛知県はどのように思っているのか、動かれているのでしょうか。</p>
事務局	<p>愛知県からするならば、やはり広域化を進めるべきであるという考え方をもっているということは認識しています。</p> <p>もし、広域化ができるというお話が進めば、市町村合併のように、積極的にその話には乗っていきたいと思っています。</p>
委員	<p>愛知県としては、広域化について垂直統合なども考えているのですか。</p>
委員長	<p>そうですね、愛知県の広域的水道整備計画を昭和50年代後半に作り、本来であれば水平統合をして、計画上であれば今、垂直統合となっているはずなのですが、水平統合がうまくいっていません。</p> <p>愛知県としては、まず水平統合を考えなければと言いつけてきたのですが、中々難しいです。</p> <p>更にその後、国から官民連携の話がでてきたりして、結果的に民に頼れということになってしまい、もっと進まなくなっています。</p>
委員	<p>愛知県企業庁が、小さな、あるいは困った水道事業者を救い上げていったら、それはそれで、成り立たなくなってしまうですね。</p>
事務局	<p>基本的に海部南部水道と愛西市水道の合併が難しい理由は、やはり料金体系が違うことにあります。</p> <p>特に愛西市水道の場合、用途別なので口径13ミリメートルより20ミリメートル、要するに大きい口径で申し込まれる方が多いです。</p> <p>海部南部水道だと、口径20ミリメートルの申込み割合が10何%だとお聞きしていますが。</p>
委員	<p>最近では口径20ミリメートルの申込みが多いです。</p>
事務局	<p>愛西市水道の場合ですと、新規の家庭における申込み割合は、口径20ミリメートルが50%近くを占めます。</p> <p>仮に海部南部水道と合併した場合、元々、愛西市水道は用途別であるため、</p>

	<p>口径に関わらず同じ料金体系ですが、海部南部水道のように口径別の料金体系を採用した場合において、「うちは口径別じゃないから20ミリメートルを申し込んだのに」ということに対する対応を考えていく必要が生まれます。</p>
委員長	<p>広域化という話において、言い方は悪いですが、すぐ実務で考えてしまうところがあります。</p> <p>トップダウンであれば、やらざるを得ないからということになるのですが、そういうわけでもありませんし。</p>
委員	<p>総論賛成、各論反対みたいなのところはあるとは思いますがね。</p> <p>昨年水道法も改正された色々な状況の中で、広域化に関する記述がこれだけかなと思いましたので、他に何かあるのでしたら、記載する・しないは別として教えていただきたいと思い尋ねました。</p>
事務局	<p>その辺りについては、考えたいと思います。</p>
委員長	<p>新たな取り組みとして、共同施設とか共有とかできないのですか。</p> <p>例えば、愛知県水の圧力を利用してとか。</p>
事務局	<p>愛知県企業庁が各団体に聞取りされて、まだ検討中みたいな状況です。</p> <p>できれば県水圧力を利用し、そのまま愛西市水道の給水区域に配水する、いわゆる直結給水をしたいという想いもありますが、そうすると配水池が要らなくなる状況となり、それはそれで災害時にそれでいいのかという議論も生まれますので、これも自己水源の考え方と同様、難しいなという認識です。</p> <p>よって、純粹に災害に関する観点を持つと、配水池だとか自己水源を持つという必要性が生まれ、災害に関する観点を持たなければ、他の考え方も生まれるとは思いますが、防災部局の見解など、その点は配慮しなければならぬと考えています。</p>
委員	<p>今、防災の話も出ましたが、防災用のものに関しては、水道料金で賄うべきものではないので、市の防災の方で一般会計からの補助があるようなスタイルをしっかりと取るべきだと思います。</p>
委員長	<p>更新事業について、起債とか起こされますか。</p>
事務局	<p>今のところは、令和8年に施設更新が始まった段階で起債を起こそうと思っています。</p>
委員長	<p>この収支計画では反映されていますか。</p>
事務局	<p>あくまでも、令和8年以降に施設更新が始まってから考えるという観点で、</p>

委員	<p>毎年度検証していくことを考えていますので、現時点では起債については盛り込んでいません。</p> <p>先ほど広域化という話があり、料金体系が一緒ではないという話がありましたので、基本的には海部南部水道と合併するとか、そういう考えはないということですね。</p>
事務局	<p>広域化に関し、一番可能なのは海部南部水道との合併です。</p> <p>それでもいくつかのハードルを越えなければなりません。</p> <p>先ほどの話にもありましたが、実務面の話をさせていただくと、経営状況も踏まえて海部南部水道と愛西市水道の実情を考えたとき、今の耐震化率、老朽化率などについて、海部南部水道の数字は良いという実情があり、そういった観点からいうと、合併したときに愛西地域だけに老朽管の対策を進めることが妥当であるかというところを海部南部水道には考えていただく必要が出てきてしまうとか、今、実務面でいうとすぐというわけにはまいらず、ハードルは高いのかなと思います。</p> <p>愛西市水道として、先ほどの話の中のようなトップダウン形式で、市町村合併のような形のお話があれば、直ちに私共は乗るとは思います。</p>
委員	<p>八開地区と佐織地区というのは、管路は全くつながっていないのですか。</p>
事務局	<p>緊急用の連絡管がつながっているだけで、配水区としては分離しています。</p>
委員	<p>そのまま連絡管を開放しても、水の流れが変わってしまいますね。</p>
事務局	<p>そういう問題もあり、今回の更新案においては、佐織は佐織、八開は八開のままとして、まず佐織地区ですが、二つ浄水場があり、小さい方をなくして佐織だけの配水区をつくりかえ、その先にどれぐらい後になるのか分かりませんが、八開と佐織をつなげるというようなことも料金の段階的な検討と併せて考えていかななくてはいけないと考えています。</p>
委員長	<p>老朽管は、布設替えとともに耐震管に変えていくのですよね、下水の工事に伴ってということで支障移転で行うのですか、費用についても。</p>
事務局	<p>支障移転が重点となります。</p> <p>自前の管路工事が非常に少ないですが、下水道工事の範囲内にある古い水道管も更新していきますので、ただ、必ずしも古いものとは限らず、やむを得ず新しい水道管も更新しなければいけないという状況も出てきますが、やはり、工事量としては下水道に係る支障移転がものすごく多いものですから、当面の間はそれに傾注しなければいけないという状況がございます。</p>

委員長	<p>いかがですか他に、ご意見・ご質問とかございますか。 では、今後のスケジュールについては、どのように進めていきますか。</p>
事務局	<p>今回、原案という形で皆様にお示しし、本日様々のご意見をいただきましたので、ご意見を反映したものをまずは委員の皆様方に送ります。 その後、令和3年1月6日から令和3年2月3日まで、パブリックコメントを実施させていただきたいと思っています。 よって、パブリックコメント期間中に何かご意見があれば、それをいただいた後、パブリックコメント終了後の2月下旬に、第2回の検討委員会を開催し、その中で、改めて皆様にご意見をいただきまして、令和2年度の完成とさせていただきたいと思っています。</p>
委員長	<p>議会への報告はありますか。</p>
事務局	<p>議会への報告は、令和3年3月議会の最終日の全員協議会において、議員の皆様方にお渡しさせていただくという形になります。 経営戦略についてはこれまでの議会で、本年度中に策定を終えるということで説明をさせていただいており、令和2年9月議会においても経営戦略についてどのように策定するのか、というご質問を頂戴していますので、恐らく令和3年3月議会においては、経営戦略の中身についてご質問をいただくものと考えています。</p>
委員長	<p>本日の協議事項につきましては、これで全て終了いたしましたので、終わらせていただきたいと思います。 本日は順調に議事が進行しましたこと、感謝申し上げます。</p>
事務局	<p>水道事業が一般の方には、分かりにくい内容であるのにも関わらず、その点の配慮が欠けていた点については、十分反省させていただいた上で、今日いただいたご意見については、反映させていただけるべきものについては反映させていただき、また、年が明けた来年につきましても、ご出席賜りますようお願い申し上げます。 本日は、ありがとうございました。</p>